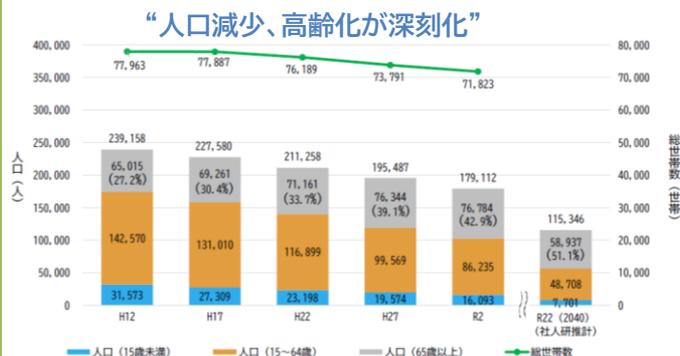


# 能登地域の現状・課題

- 地震前より、人口減少・少子高齢化が深刻化
- 地域公共交通について、路線バス利用者も10年間で約35%減少
- ⇒【発災後】人口流出の加速、タクシー事業者の休廃業、運転士不足等により路線バスの減便、自治体職員の業務負担増

現状・課題

## 人口（高齢化率）・世帯数の推移【4市5町】



※世帯数は令和2年までのデータ記載  
出典：令和2年国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所（令和5年推計）

## 路線バス利用者数【4市5町】



## タクシー事業者【奥能登2市2町】

“震災により、休業や運行台数減”

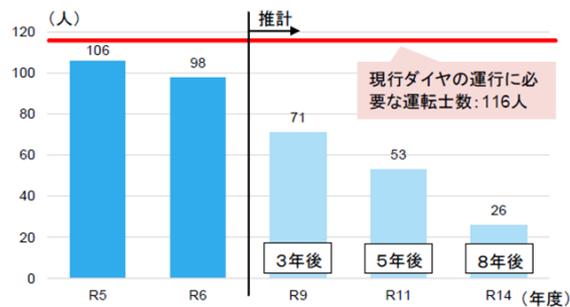
【タクシー事業者】奥能登2市2町被災前後での比較

営業区域	項目	被災前	被災後	差
輪島市	事業者数	8	4	▲4
	車両数	38	19	▲19
珠洲市	事業者数	2	3	▲1
	車両数	10	7	▲3
穴水町	事業者数	3	3	0
	車両数	11	10	▲1
能登町	事業者数	3	2	▲1
	車両数	16	19	▲3
計	事業者数	16	12	▲4
	車両数	75	55	▲20

※事業者数は、被災前は令和5年3月31日時点、被災後は令和6年10月1日時点での状況  
※車両数は、被災前は令和5年3月31日時点、被災後は令和6年3月31日時点での状況  
出典：北陸信越運輸局資料

## 路線バス運転士数【4市5町】

“既に必要数に対して不足しており、今後深刻化”



※過去5年間の3社の雇用・退職実績を踏まえ機械的に推計

# 石川県能登地域公共交通協議会の取り組み



- 能登地域公共交通協議会を立ち上げ、地震により厳しい状況にある**能登地域の公共交通のあり方を検討**
- 被災により、特に奥能登2市2町では、タクシー事業者の廃業や路線バスの減少、自治体職員の負担増など厳しい状況  
⇒**今般のパイロット・プロジェクトへの応募・採択**

	短期（～R7年度末）		中期（～R10年度末）	長期（～R14年度末）
	R6年度	R7年度	R8～10年度	R11～14年度
【能登4市5町】 <b>第一次計画</b>	金沢と能登地域への 広域移動手段の確保		JR七尾線・のと鉄道・特急バスの運行・維持・利用拡大	
【能登4市5町】 <b>第二次計画</b>	新たな交通手段の活用を含めた 路線バス、コミュニティバス等の再構築を検討		実証運行	実証実験の結果を 踏まえて運行
【奥能登2市2町】 <b>パイロット・プロジェクト</b>	<p>※反映</p> <p>共通AIオンデマンドシステム導入</p> <p>広域運営体制づくりの検討</p>			

## 「共通AIオンデマンドシステム導入」

- ◎奥能登2市2町  
『共通AIオンデマンド交通システム』の導入を実施
- 1 自治体ごとに導入するよりもランニングコストを軽減
- 2 どこでも同じアプリ、同じ電話番号で配車可能
- 3 生活圏に合わせた市町を越えた移動が円滑に可能
- 4 AIを活用することで輸送資源の効率活用

## 「広域運営体制づくりの検討」

- ◎交通業務の一元化(広域での運営)を図ることで  
金銭的・人的・物的リソースの効率的活用
- 1 交通ネットワークの統合・広域管理マネジメント
- 2 共同配車センター・コールセンターの運営
- 3 既存交通事業者との調整・契約管理
- 4 運転手・車両の共同管理
- 5 移動需要の喚起・利用促進、民間と連携した収益  
確保策の実施、財政支援の活用調整 等

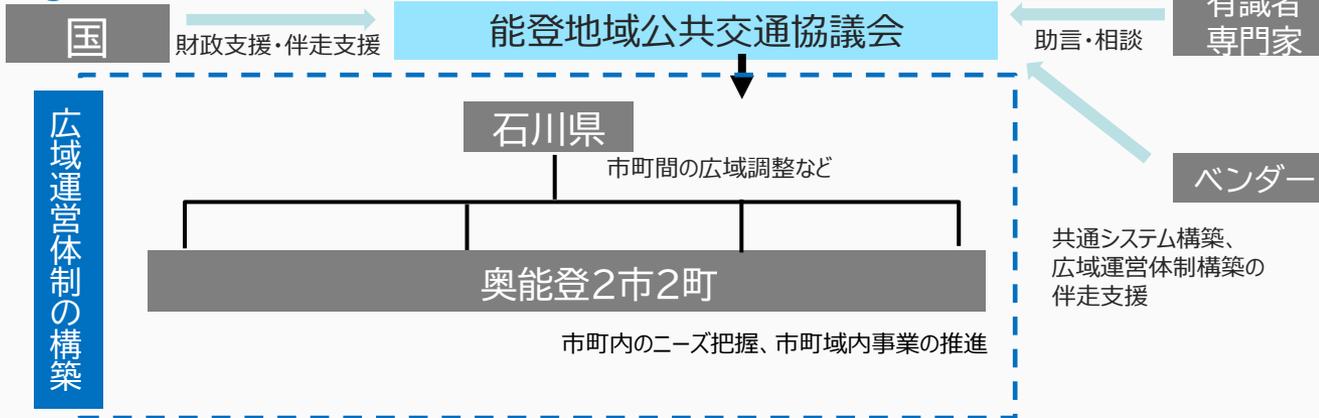
段階的に検討

Title

Area R7年度 実証地域

## 石川県能登地域

### Project Members 事業主体、パートナー企業・団体、関係省庁など



有識者 専門家

ベンダー

### Background プロジェクト実施の背景

- 能登地域では、一般路線バス、タクシー、各市町運営のコミュニティバスの地域公共交通が運行されているが、運行はそれぞれの運行主体に任せられ、十分な相互連携が図られておらず、地域住民や観光客の移動ニーズを踏まえた効率的な運行となっていない状況にある
- このような中、令和6年1月の能登半島地震が発生し、資金面・人材面で課題を抱える基礎自治体、事業者が、単独での運行継続が難しく、減便・廃止の危機に瀕している

### Outline プロジェクト概要

- 奥能登2市2町共通AIオンデマンド交通システム導入**
- 広域運営体制づくりの検討**

#### スケールメリットを生かした運営効率化

既存の交通モードの共同運営化（予約配車の共同化等）や広域化（自治体またぎの運行）により「交通空白」解消のための金銭的・人的・物的資源の効率的活用

#### 運営体制の構築

予約配車、運行管理、人材確保などを一元的にマネジメントする運営体制を構築

### Effect 想定される効果

- 地域全体でのリソース共有による効率性向上
- 地域全体を俯瞰したネットワーク再構築による利便性向上
- 特に過疎地での「地域の足」を効率的・安定的に確保

### Plan 今後の展開（他地域への事業展開構想・見通し）

同様の課題を抱える地域においても、共同運営によるリソースの共有化を実現